

機械器具 48 注射筒
*一般医療機器 歯根膜内麻酔用注射筒 「JMDN」 35869000

ソフトジェクト

【形状・構造及び原理等】

〔全体図〕



寸法：全長 180mm 重量：130g

〔原材料〕

ステンレス・スチール製

〔原 理〕

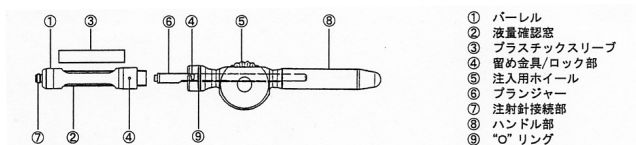
歯科用カートリッジ型麻酔薬を本器に装填し、注射針接続部に注射針を取り付けることによりカートリッジ先端部に注射針が穿刺され、本器に付いている注入用ホイールを前方に回転させることによりカートリッジ後方のゴム栓を押して必要量を注射します。

* 【使用目的又は効果】

徐々に圧力を加え歯周靱帯又は、骨に局所麻酔薬を投与するために特別に設計された歯科用カートリッジ式注射筒をいう。

* 【使用方法等】

- ① 注入用ホイールを後方に回転させ、開始点に戻します。
- ② カートリッジ保護用スリーブをカートリッジ保持筒（バーレル）に入れ、その後麻酔用カートリッジをカートリッジ保持筒にセットします。
- ③ カートリッジ保持筒を本器接続部のガイドに差し込み、右回転させ固定します。
- ④ 注入用ホイールを前方に回転させ、カートリッジに接続させます。
- ⑤ 注射針接続部に市販の注射針を接続します。
- ⑥ 注入用ホイールを前方に回転させ、麻酔薬を滴下させ、注射針が正しく取り付けられていることを確認します。
- ⑦ 通法に従い針先を麻酔部に刺入し、注入用ホイールを前方に回転させ麻酔薬を注入します。（注入用ホイール 1 ストロークは約 0.1ml になります。）



【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ① 本品は未滅菌品であるため使用に際しては必ず洗浄し、
【保守・点検に係る事項】に記載する滅菌条件、又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。

② 伝達麻酔には使用しないこと。

③ 拔牙の場合を除き、歯周組織に炎症のある歯牙には適用しないこと。

④ 歯科用麻酔カートリッジ 1.8ml、又は 1.0ml を使用すること。

⑤ 歯根膜注射の場合は、30 ゲージのエキストラショート又は 31 ゲージのエキストラショートの注射針を使用すること。

⑥ 注入スピードは 0.2ml（2 ストローク）をゆっくりと 20 秒～25 秒かけて注射すること。

* 【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

〔滅菌条件〕

本品使用後は、水洗の後、超音波洗浄器、清掃液、消毒剤などにより付着物を完全に除去した後、充分に乾燥させ、下記に記載する条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。なお、滅菌のためのセット・包装にあたっては、製品の劣化を防ぐため、バーレルと本体を取り外すこと。

滅菌方法：高圧蒸気滅菌

滅菌条件：温度 132℃、時間 10 分以上

（過度の温度上昇を避けるため乾燥工程は省くこと。）

〔使用者による保守・点検事項〕

カートリッジが破損した場合は、直ぐに水洗いすること。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：株式会社 茂久田商会

連絡先：<https://www.mokuda.co.jp>

製造業者：ヘンケ社／ドイツ

Henke-Sass, Wolf GmbH／Germany